

原始関数, 積分定数

[英] *primitive function, constant of integration*

原始関数

関数 $f(x)$ が与えられたとき, 微分して $f(x)$ になる関数, つまり

$$F'(x) = f(x)$$

を満たす関数 $F(x)$ を, 関数 $f(x)$ の**原始関数**という.

$f(x)$ の原始関数を

$$\int f(x) dx$$

と表し, 記号 \int は “積分” 又は “インテグラル” と読む.

積分定数

$f(x)$ の原始関数の 1 つを $F(x)$ とすると

$$\int f(x) dx = F(x) + C \quad (C \text{ は定数})$$

この C を**積分定数**という.